

## 汚染の概要及び対応等

- 事業者が東町地内に所有する土地において、自主的に土壤汚染状況調査を実施したところ、有害物質である鉛が土壤含有量基準を超えて検出されました。

### 1 調査の概要

対象となる面積約 20,800 m<sup>2</sup>の敷地を 213 区画に区分し、各区画から採取した試料を分析

土壤含有量調査：70 区画（約 6,800 m<sup>2</sup>）の土壤から基準を超過する鉛を検出

濃度（最大）：9,300mg/kg（土壤含有量基準：150mg/kg）

土壤ガス調査：すべての区画で有害物質は未検出

※土壤ガス調査は、土壤汚染状況調査において土壤汚染の有無を把握するために  
行われる調査で、基準等はありません。

土壤溶出量調査：有害物質の基準超過なし

### 2 対応について

- ・ 市は周辺に飲用井戸や水道水源がないことを確認しました。
- ・ 市は周辺の井戸の地下水調査を行い、汚染の有無や汚染の広がりを把握します。

(参考)

物質	健康への影響	用途
鉛	疲労、頭痛、関節痛、胃腸障害、中枢神経障害、末梢神経障害を起こす原因になるといわれている。	鉛蓄電池、ハンダ、合金原料、電線被覆、顔料、弾薬、プラスチック安定化剤等。